

院内委員会・部会 活動報告書

| | | | |
|----------------------------------|---|--|----|
| 委員会名 | 2024年度 海老名総合病院 倫理委員会 | | |
| 開催日時 | 2025年1月21日(火) | | 場所 |
| | 17時00分~17時45分 | | |
| 委員会目的 <small>(規程より引用)</small> | 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院において行う、人を対象とする医学系研究及び医療行為について、ヘルシンキ宣言、厚生労働省の定める医学系研究に関する倫理指針及びそれに基づき制定された海老名総合病院倫理規程に則り適正に行われることを目的とする。 | | |
| 病院長に報告すべき 決定事項 (答申) | ① | なし | |
| | | | |
| 審議内容 | | 新規申請なし | |
| | | 書類審査報告なし | |
| その他 | | <p>【院内委員のみ】 その他</p> <p>① 各ワーキンググループより報告</p> <p>(1) DNAR 指針の作成 委員 →患者さんの方針に関して効果的に情報共有するテンプレートを考案中 指針の作成→実効性のある内容を取りまとめる予定 テンプレートの作成→カルテの掲示板に記載が徹底されておらず、統一されたフォーマットなどがない点が問題なため使用方法について検討</p> <p>(2) 終末期医療指針の策定(人生の最終段階) 委員 →今年度の診療報酬改定で入院基本料に意思決定支援が追加された。 本人の意思決定をどのような形で確認し情報共有していくのか検討中</p> <p>臓器提供について 委員 →聖マリアンナ医科大学病院へ病院見学に行く予定 マニュアルを作成・シュミレーションを実施・振り返りを行うなど、まずは体制づくりを検討</p> <p>(3) 倫理コンサルテーションチーム 委員 (目的) ・倫理的課題の原則に対応するためチーム設立。現場で解決できない課題を対象とし、おもに多職種間で合意形成を支援していく。 ・法的・倫理的な観点から助言を行い専門的な役割を担う。 (チーム) ・機動性を重視し必要な時に迅速に対応できる人数とスキルを確保 緊急フロー・通常フローの全体のプロセスを明確にし、どの段階でコンサルテーションチームが介入するかを可視化していく (今年度の目標) ・チームの規定・組織図を作成。次年度以降、部署内の倫理カンファや学習会で多職種間の倫理的課題に取り組む文化を育んでいく</p> | |

院内委員会・部会 活動報告書

| | |
|-----|--|
| | <p>(4) オプトアウトの推進と承認方法 委員 →レジストリ研究や薬品適応外使用でのオプトアウトが望ましいものなどルール立ててホームページなどで公開できるような仕組みづくりを検討</p> <p>② 【包括同意に関して】 委員長 包括同意として、医療上必要なことを個別に同意を取らずにホームページで同意を取ったという形を検討中</p> <p>③ 法人本部新入職研修について 委員長 【1回目】4/1 ビナレッジ 座間総・海老総全職種の研修開催 →患者さんの権利・倫理についての内容（45分間） 【2回目】場所：ビナレッジ 海老名総合病院新入職の研修開催 →ワーキングについての内容</p> |
| 出席者 | <p>(敬称略)</p> <p>山際武志・高垣智紀・小林智範・滝原崇久・和地いつみ・高田充美・木村真美・内海里沙・角田和博・藤井拓海・菅田友紀・疋田麻衣子・松山恵子・澁谷由希・菅野真菜・戸田知恵</p> |
| 欠席者 | <p>兼久奈己・棚瀬慎治(弁護士外部委員)・柳田理恵(海老名市副市長外部委員) 森朋有(東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域准教授外部委員)</p> |